

米国カリフォルニア州 柑橘類の生育条件が改善

[FreshPlaza](#) 2025年10月16日

生産者が収穫に向けて準備を進める中、今シーズンのカリフォルニア州産柑橘類については楽観的な見方が広がっている。カリフォルニア州柑橘類協会(CCM)のケイシー・クリーマー氏は、「ネーブルオレンジの収穫が始まったところである。生産者は園地で果実の内部品質と外観の評価を行っており、まもなく本格的な収穫に取り掛かる予定である」と述べ、第3農業地区(カーン郡等)ではマンダリンとレモンの収穫が始まっているとの報告もあると付け加えた。(以下「」は同氏の話)

出荷シーズンを前に昨年よりも生育条件が改善している。「昨年は気温が高く、暖かいと果皮の着色が進まないためネーブルオレンジの収穫開始が遅れた。今年は天候に恵まれ、サイズも良好で品質の良い果実となった。少なくともセントラルバレーでは夏が涼しかった。」今週は雨の予報があるため、収穫が一時的に遅れる可能性がある。それ以外では、収穫開始は例年よりやや早まる見込みである。また、報告によると、カリフォルニア州産柑橘類の総量は2024年と同程度と見込まれる。「増加している品種もあれば、減少している品種もある。ネーブルオレンジの予測収穫量は昨シーズンよりやや多いが、大幅な増加ではない。」

需要の状況 今シーズンの需要、特に輸出に関しても楽観的な見方がある。カリフォルニア州産オレンジ、マンダリン、ネーブルオレンジの国内需要は概ね安定しており、数年前から大きな変動はない。一方、レモンの需要は米国への輸入の増加が影響を与えているようである。

しかし、今年は輸出上の課題により、国内市場への柑橘類供給量が増加し、結果として価格が圧迫された。例えば、カナダは3月に米国産柑橘類を含む多くの品目に対して25%の対抗関税を課したが、その関税は先月撤廃された。「輸出に大きな障害は見られないので、カナダ、韓国、日本、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランドなどの主要市場への今年の出荷が始まることを楽しみにしている。」

韓国 シャインマスカットの新たな後継3品種を導入

[FreshPlaza](#) 2025年10月16日

農村振興庁(RDA)は、「ココボール」「シューティングスター」「ホンジュシードレス」の3つの新しいブドウ品種の本格的な流通を開始したと発表した。同庁は、これらの品種がシャインマスカットへの市場の集中を緩和し、生産者の収入の安定に寄与することを期待している。

2010年代まではキャンベルアーリー品種が韓国国内のブドウ栽培の約60%を占めていたが、2020年までにシャインマスカットのシェアが40%に達し、キャンベルアーリーは30%未満に低下した。シャインマスカットは2015年に商業流通を開始し、韓国のブドウ産業は急速な品種転換が進んだ。RDAの関係者は「シャインマスカットは糖度の高さ(平均ブリックス18)と皮ごと食べられる利便性により栽培面積が急速に拡大した」と述べている。RDAは、同様の特性を持つ3品種が生産者と消費者の注目を集めることを期待している。

最新品種である**ココボール**は糖度がブリックス19以上で、房が緩く形成されるため摘粒作業の負担が軽減されるのが特徴である。昨年から流通が始まり、既に栽培面積は5ヘクタールに拡大している。名称は「カカオ色の薄い皮を持つブドウ」に由来する。**シューティングスター**は、星の光が散らばったような外観から命名された品種である。糖度はブリックス19以上で、綿菓子のような香りが特徴である。今年から出荷が始まり、主に尚州から約20トンが供給された。この品種は現在、百貨店及びオンラインマーケットを通じて流通している。**ホンジュシードレス**は「種なし赤ブドウ」を意味し、甘みと酸味のバランスが良く、歯切れの良い食感が楽しめる品種である。「ブドウのエルメス」とも呼ばれる。苗木は100ヘクタールの栽培に向けて配布されている。

RDAは、2030年までにこれら3品種の総栽培面積を300ヘクタールに拡大するため、自治体、生産者団体及び流通業者と協力している。来年からは香港、ベトナム等のアジア市場を対象に、各品種1トン程度の試験輸出を行う計画である。国立園芸特作科学院のキム・デヒョン園芸作物部長は、「生産基盤の確保に向けた専用生産団地の設置と栽培の安定性向上のための研究を継続し、国産ブドウ品種の多様化と市場拡大を主導する」と述べた。

出典: ChosunBiz